

新年明けましておめでとうございます。17日間の冬休みでしたが、楽しく過ごせましたか？
2022年寅年が始まりました。寅年には、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起のよさを表しているといえそうです。寅年にふさわしく琴芝小学校のみなさんが、新しいものに向かって元気にチャレンジする1年にしたいと思います。

今日は、トラではなくライオン、「ライオンとねずみ」というお話をしします。

ある日、ライオンが昼寝をしていました。
そこへねずみが通りかかりました。
ねずみはライオンの背中にとび乗ると、
跳んだり、はねたりして遊び出しました。
それに気付いたライオンが目を覚めました。
ライオンは逃げるねずみを捕まえて食べようとしてしました。
ねずみは言いました。

「ライオンさん、助けてください。
もし助けてくれたら、きっと恩返しをします。」
「なに？ おまえみたいな小さなやつに何ができるんだ。
むりに決まっている。でも、今はおながすすいてないから、
おまえを食べないで助けてやる。」

ライオンは そう言って、ねずみを放してあげました。

ある日のことです。

ライオンは、人間がつくった罠にひっかかってしまいました。

ライオンは逃げる事ができません

ライオンがあきらめかけたその時です。

ねずみが網をかじって助けてくれました。

「あの時ぼくを助けてくれた恩返しです。」

ライオンは、恥ずかしそうにお礼を言いました。

「ねずみさん、ありがとう」



※内容は一部改作

絵は「まーくんのイラスト集」から

<http://maakunn0521.blog93.fc2.com>

このお話から、みなさんはどのようなことを学びますか？

「ねずみは恩返しをするという約束を守った。約束を守ることが大切だ。」

「助けてもらったら、恩返しをすることやお礼を言うことが大切だ。」

「親切にしたり、よいことをしたりすると、自分にもよいことが返ってくる」

「どんなに力がある者でも、他人の力が必要な時がある。協力が大切だ。」

「みんなそれぞれ得意なことがある。あきらめずに自分の力を信じろ。」

いろいろなことを学びますね。答えはひとつではなく、人それぞれのとらえかたがあって当たり前です。そして、それぞれ違う考えや、得意なことがあるから協力し合え、安心してチャレンジできるのです。みなさんも、ライオンやねずみさんのように力が違っても助け合って過ごせるといいですね。

2学期の終業式に「毎日、当たり前のことをきちんとできる人」は、金メダルだよというお話をしました。何かあった時だけ頑張る人より、当たり前を少しずつ増やすことが、お兄さん、お姉さんになるということです。

さて、ここでみんなに考えてほしいことがあります。「当たり前」の反対の言葉はなんでしょう。（しばらく時間をおく）

なかなかないこと、珍しいこと・・・ときっと頭の中で考えていることでしょう。答えは、「ありがとう」です。難しい言葉で「感謝」です。

みなさん、日ごろ「ありがとう」って使っていますか。落としたものを拾ってもらった時、ものを貸してもらった時、やさしい言葉をかけてもらったり、困っているとき助けてもらったりした時など、いろいろありますね。こういう時は、すぐに「ありがとう。」ですね。

でも、「ありがとうの心」は、そういう時だけじゃないと校長先生は思っています。悪いことをしそうになった時に止めてくれたり、わがままを注意してくれたり、本当に大事なことを教えるために厳しい言葉をかけてくれたりした時も、ここから「ありがとう。」ではないかと思います。厳しいことでも、いやな顔をしないで、ここから「ありがとう。」と言える人になってほしいと願います。

ここで、校長先生が皆さんに伝えたいことは、誰かにしてもらったことを、当たり前と考えるか、感謝の気持ちで受け止めるかということです。みなさんには、是非感謝の気持ちで受け止めてもらいたいのです。決して、やってもらうことが、当たり前なことと思ったりしないでください。3学期の生活目標は「ありがとうの気持ちを伝えよう」です。たくさん伝えられるといいですね。

そして、みなさん一人一人が、当たり前を毎日頑張り、当たり前にしてもらうことの大切さに気づき、ありがとうと言ってもらえる人になるように3学期しっかり頑張りましょう。これで、校長先生の話が終わります。